

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第336号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2014年10月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

東海大学適性審査合格者23名

TOP*NEWS

学園オリンピック

文化部門:入賞者2名 スポーツ部門:男子総合3位



適性審査・学園オリンピックによる特別奨励候補者の皆さん



学園オリンピック夏季セミナー入賞者 尾上愛さん・芦野光祐君



学園オリンピック (理科部門)



学園オリンピック (国語部門)

希望を星につなげ!

2014年度 東海大学学園オリンピック

文化部門

7月31日(木)から8月5日(火)までの6日間、群馬県の東海大学婦恋高原研修センターで東海大学学園オリンピック文化部門夏季セミナーが実施されました。本校からは12名が参加し、その持てる力を存分に発揮し、次の2名が入賞しました。おめでとうございます。

受賞者

理科部門 優秀賞 尾上 愛 中等部3年A組
 (第21回) 奨励賞 芦野 光祐 高校3年9組

スポーツ大会

種目	順位	氏名
陸上競技部 男子100m	第1位	永山 雄登
男子200m	第2位	永山 雄登
卓球部 男子団体	第2位	
女子団体	第2位	
サッカー部	第1位	
ソフトテニス部 男子団体	第3位	

2014年度 夏休み部活動結果

陸上競技部

私学大会 100m 第1位 永山 雄登

アーチェリー部

東京都新人戦 第2位 久保田朋美 第6位 中村 悠季
 第4位 山下 大輔 第7位 戸嶋 大貴

ダンス部

全国高等学校ダンスドリル全国大会 HipHop混成ラージ部門 第4位
 USAスクール&カレッジコンペティション2014 第1位

軽音楽部

東京都軽音楽コンテスト 優秀賞 MADARA
 全国軽音楽コンテスト 優秀賞 MADARA

卓球部

港区卓球大会 [Jr 男子の部] 第2位 肥後 雄大
 第3位 山本 大貴
 [Jr 女子の部] 第2位 矢萩貴美子
 [一般男子の部] 第1位 出村 知季
 第2位 針ヶ谷知哉
 第3位 石井 智崇
 [一般女子の部] 第1位 平澤 英実
 東京私学大会 団体戦 ベスト16
 ダブルス ベスト8 出村・針ヶ谷組

陸上競技部(中等部)

私学大会 男子砲丸投げ 第1位 田代勇太郎
 男子100m 第6位 相原 幸輝
 男子200m 第4位 相原 幸輝

「東海大学適性審査」の結果、23名が新たに推薦候補者と決定

東海大学の付属推薦入試について、6月21日(土)に芸術系の学科、6月28日(土)に看護系の学科及び医学部医学科、さらに7月27日(日)と8月23日(土)に工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻の適性審査が実施され、23名の生徒が合格、推薦候補者と決定しました。1、2年生のうちから適性審査に向けてしっかりと準備をし、厳しい実技試験・面接試験を突破して合格した皆さん、おめでとうございます。

現在高校1、2年生で、適性審査のある学部・学科を希望する皆さんは、早期からの準備を心掛けてください。

東海大学適性審査合格者

進学予定先	学科別人数(名)	進学予定先	学科別人数(名)
工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻	1	教養学部 芸術学科 音楽学課程	2
医学部医学科	5	教養学部 芸術学科 美術学課程	1
健康科学部看護学科	6	教養学部 芸術学科 デザイン学課程	2
		医療技術短期大学 看護学科	6

東海大学適性審査による特別奨励候補者氏名(五十音順)

飯田 隆嗣 植木 美帆 遠藤 功喜 小野瀬愛佳 川上 真由 木庭 怜香 桑岡 城 小林 彩香
 佐々木真奈 沢田 佳慧 山藤寿三礼 末野 玲雄 菅原 重騎 敦賀谷 尚 轟 垂里紗 長岡 菜々
 中村 理沙 夏川 勇希 蛭田佳和子 藤城 優佳 望月 亮吾 山田 杏佳 山水 夏帆

高輪カップ(卓球)・高輪ウィンドフェスティバル(吹奏楽) 開催

男子 卓球の部

優勝	足立区立第十四中学校
準優勝	練馬区立石神井南中学校
3位	世田谷区立砧中学校

参加校 16校

葛飾区立本田中学校 大田区立南六郷中学校 板橋区立加賀中学校
 足立区立第十四中学校 大田区立大森第八中学校 目黒区立目黒中央中学校
 江戸川区立小岩第一中学校 練馬区立石神井南中学校 目黒区立第四中学校
 江戸川区立南葛西第二中学校 練馬区立田柄中学校 川崎市立西中原中学校
 荒川区立尾久八幡中学校 世田谷区立砧中学校 東海大学付属高輪台高等学校中等部
 江東区立深川第七中学校

女子 卓球の部

優勝	練馬区立石神井南中学校
準優勝	川崎市立西中原中学校
3位	江東区立深川第七中学校

参加校 8校

江東区立深川第七中学校 江戸川区立小岩第一中学校
 大田区立南六郷中学校 板橋区立加賀中学校
 練馬区立石神井南中学校 越谷市立西中学校
 荒川区立尾久八幡中学校 川崎市立西中原中学校

顧問 細田 功



男子優勝 足立区立第十四中学校



女子優勝 練馬区立石神井南中学校



高輪台中等部



熱戦の様子

第9回高輪カップが7月21日(月)、本校アリーナにおいて行われました。高校卓球部に所属している部員の母校を中心に、男子16校、女子8校が集まり熱戦が繰り広げられました。男子決勝は、足立第十四中学校が石神井南中学校を3対2で破り初優勝を果たしました。女子は、石神井南中学校が3対1で西中原中学校を破り同じく初優勝を果たしました。本校中等部は、3・4位トーナメントで1回戦、目黒中央中学校に3対2で勝利しましたが、2回戦で惜しくも小岩第一中学校に2対3で敗れてしまいました。しかし、技術力やチーム力では昨年以上に大きく成長した姿を見ることができました。

今大会が、各校顧問の先生方ならびに多くの方々のご協力により、無事終了できたことを心より感謝申し上げます。

吹奏楽の部

参加校 44校

港区立高松中学校
 足立区立第十三中学校
 墨田区立本所中学校
 川崎市立平間中学校
 川崎市立田島中学校
 川崎市立南河原中学校

八王子市立ひよどり山中学校
 足立区立第十一中学校
 板橋区立志村第四中学校
 川崎市立東橘中学校
 川崎市立有馬中学校
 多摩市立落合中学校
 川口市立領家中学校
 市川市立第八中学校
 さいたま市立白幡中学校
 千葉市立蘇我中学校

大網白里市立大網中学校
 横須賀市立大矢部中学校
 川口市立北中学校
 朝霞市立朝霞第二中学校
 西東京市立青嵐中学校
 横浜市立田奈中学校
 荒川区立尾久八幡中学校
 江東区立砂町中学校
 渋谷区立広尾中学校
 品川区立小中一貫校日野学園

町田市立木曽中学校
 さいたま市立原山中学校
 藤沢市立六会中学校
 蕨市立東中学校
 さいたま市立八王子中学校
 習志野市立第二中学校
 草加市立谷塚中学校
 川口市立十二月田中学校
 相模原市立大野南中学校
 川崎市立橘中学校

川崎市立幸並中学校
 市川市立妙典中学校
 練馬区立開進第二中学校
 足立区立洲江中学校
 大田区立雪谷中学校
 江戸川区立東葛西中学校
 東海大学付属相模高等学校中等部
 東海大学付属高輪台高等学校中等部

顧問 畠田 貴生



トを楽しんでいただき、終演を迎えました。顧問の先生方から第7回の開催を望む声が寄せられ、すっかり定着した感がある素晴らしいイベントとなりました。

第6回高輪ウィンドフェスティバルが7月23日(水)に、昨年とほぼ同数、44校の中学校吹奏楽部の参加により、本校アリーナにて開催されました。演奏者3,200人、保護者の皆様をはじめとする観客の方が2,100人を超え、満員のアリーナで熱気に満ちた演奏が繰り広げられました。3人の講評員の先生方に今後の演奏活動へのアドバイスをいただき、目前に迫った吹奏楽コンクールの練習に役立てようとしている中学生の姿が印象的でした。フェスティバルの最後には、本校吹奏楽部のスペシャルコンサートを

学年だより 中1

キャリア教育 ライオン株式会社

中等部1年生は、キャリア教育の一環として、ライオン株式会社の研究員の方にご来校いただき、クイズ形式でお話をお聞きしたり、普段経験できない各種の実験を生徒全員が体験しました。授業時間2時間を使い、各クラスとも「歯と虫歯」について1時間、「手洗いと細菌」について1時間の授業をそれぞれ交代で受講しました。楽しいお話と実験に生徒たちは大喜びでした。

自分のペン

A組 石川 聖都

ライオンの方から手洗いと歯についての授業を受けました。手洗いの大切さを、例を挙げて教えてもらいました。しかし、ブラックライトで汚れを見る実験のときに、自分にとって大変なことがわかってしまったのです。研究員の方が、「自分の持っている物の汚れを見たい人はいますか」と言われたので、手を挙げたら指名され、ボールペンを取って汚れを測ってもらって出た数値は、なんと8,000を超えました。数字が高いほど汚いと言われたのでしょんぼりしてしまいました。

その後手洗いについて教わり、手を洗いました。そしてボールペンも洗い、きれいにならしましたが、もう一度ブラックライトで見てもまったく汚れが落ちていないのでびっくりしました。

普段からさわっている物にも汚ればい菌がこれほどにもたくさんついているとは思っていませんでした。身のまわりをきれいにするには、まず手洗いが大切だと思いました。

歯ブラシのコツ

B組 石井 麻優

私は、この授業を受けるまでは、歯にはあまり興味がありませんでした。ですが、今回ライオンの方の授業を受けて、歯の磨き方について意識するようになりました。ただ歯を磨くだけの毎日から、いろいろな場所を歯ブラシのいろいろな部分で磨くという毎日に変えることができました。

歯ブラシには、わき、かかと、などの部分があり、一つ一つ使い分けて磨くことを私は初めて知りました。また、奥歯は45度という微妙な角度で磨くと奥の歯や、おやしらずも磨けるということを知ることができました。そして、歯磨き粉は私たちの年齢だと歯ブラシの半分がいいということもわかり、これからは半分にしようと思い、実行することができました。

このように、この授業を受ける前は私は歯磨きのことをよく知ってはいませんが、このライオンの方からの授業を生かして、今後は歯をもっとしっかりと磨き、自信のある歯にしたいと思いました。



ブラックライトで汚れを確認



口腔内の汚れをパッチテストで確認

学年だより 中2

English Summer Camp

8月26日(火)から28日(木)までの3日間、中等部2年生は東海大学孺恋高原研修センターでEnglish Summer Campを実施しました。

平均気温20℃前後という涼しい環境で、残念ながら雨天により室内での活動のみとなりましたが、アメリカ人大学生の皆さんと生活を共にしながら英語漬けの毎日をご過ごしました。「習うより慣れる」が昨今の英語上達の極意だそうですが、生徒諸君はこの3日間で英語に十二分に慣れ、飛躍的に英語力を高めたことと思います。

サマーキャンプを終えて

A組 関根 瞳

私は、このサマーキャンプに行く前、言葉が通じない人たちとどのようにしてコミュニケーションを取るのかなど、少し不安な気持ちがありました。いざ話してみると皆優しく、数少ない単語でも私が何を言いたいのか理解しようとしてくれ、身振り手振りや絵を書いてくれたりして、一生懸命に返事をしてくれました。

お互いが理解して会話になった時は、すごくうれしかったです。この時に不安だった気持ちも消えて、英語で話すことが楽しいと思えるようになりました。

ACさんたちのテンションの高さについていけるのか心配でしたが、最終日には私自身もノリノリになっていて、このキャンプをとっても楽しめたと思いました。

まだまだ英語は苦手な科目ですが、もっと頑張りたいです。

ESC

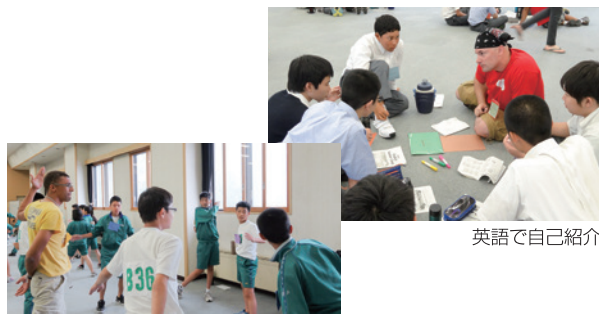
B組 小出 亜美

夏休みの最後に、孺恋研修センターでのサマーキャンプに参加をしました。初めは乗り気ではありませんでした。夏休みの宿題もまだ終わってなかったし、英語もあまり得意ではないからです。行く前の私の予想では、原稿を英語で考え、それを練習し全体で発表するだけだと思っていました。そんな印象を持って、初日の朝を迎えました。

研修センターに着くと、ACのハイテンションに圧倒されました。ACにはなかなか言葉が通じませんでしたが、私の話を理解しようとしてくれることがうれしかったです。

その中でも一番楽しかったのが英語で行った劇でした。準備段階からすごく面白かったです。みんなで意見を出し合い、どんな物語にするかを決め、セリフを考えました。実際にリハーサルを繰り返す、不自然なところは訂正しました。その全てが楽しく、こんなに一生懸命になったことは久しぶりでした。

今回のキャンプで、どんなことも一生懸命にやれば楽しいということを学びました。



英語で自己紹介

さまざまなゲームをしました

食事を共にしました



英語の劇を披露!

級長が英語でお礼を言いました

修了証をもらって記念撮影



学年だより 中3

～夏休みが終わりました～

例年より一週間長い夏休みが終わりました。課題作文「夏休みの思い出」の一部を紹介します。中等部最後の夏休みを充実して過ごした生徒が多かったようです。

夏休みの思い出

A組 尾上 愛

今年5月に提出した理科部門のレポートが一次審査を通過し、学園オリンピックに参加することができました。学園オリンピックに参加するのは2回目、1年生のときに1回あり、2年生のときには通過することができなかったため、今年はとてもしっかりと力を入れてレポートを書きました。私は学園オリンピックの前に、物理化学部の合宿が嬬恋研修センターであったので、そのまま嬬恋に残り、各校の先生や生徒が来る前に会場の準備を行いました。午後、開会式が行われ学園オリンピックが始まりました。

理科部門では、それぞれの分野の教授から毎日日替わりで、講義や実験を受けます。どれも普通の授業では受けられないようなとても面白く、アクティブな講義でした。例えば物理では、風船にヘリウムガスを入れ、カメラと回収用のひもをつけて上空へ飛ばし、バラキ湖の撮影を行いました。化学では、七宝焼きの原理について学び、実際に900度の窯を使って七宝焼きを作りました。生物では、行く予定だった火山帯が火山レベル2になってしまい、予定を変更し野地平高原へ行って、生えている針葉樹や草花について学びました。地学では、火山の噴火などで起こる火砕流や雪山での雪崩の恐ろしさや、なぜ恐ろしいのかを模型を作り考えました。また、一次審査に提出した実験について、それぞれ発表を行う場もあり、いろいろな人の研究を聞くことで新しい発見がたくさんあります。科学は、私たちの生活の至るところで使われており、見落としがちなものにもヒントは隠れています。そのヒントを見つけられる目を養いたいです。

学園オリンピックは、大自然の中で、学校や、日々の生活では体験できないようなことができ、他校の生徒とも交流がしやすく、多くの発見があります。そして何よりも楽しく充実した6日間で、また来たいという思いが強くなりリピーターが増えるのです。私もそのリピーターの1人です。

最後の大会

A組 相原 幸輝

私は目標を達成しました。100m、200mともに入賞することができました。正式に中学2年生の春に陸上競技部に入部し、短距離を専門に頑張っていました。大会に出るたびに負けることへの悔しさが強くなっていき、今以上にもっと速くなりたいという気持ちが強くなっていました。そうすると、部活動を今まで通りに頑張っているだけではだめだと思い、陸上競技に関することをインターネットや本で調べたり、自主練習も多く重ねたり、食生活にも気を配りました。

そして、努力が報われたのか、3年の最初の大会から、大会に出るたびにベスト記録を更新していきました。その調子で頑張り、夏合宿も死ぬ気で頑張り自信満々の状態で、中学で最後の大会となる私学大会に出場しました。100m、200mと二種目出場し、二種目とも決勝まで行き、決勝でも戦えるくらいの力がついていました。自分でも驚いたし、とてもうれしかったです。最高の夏の思い出になりました。

しかし、高校でも続けるので、浮かれていないで今まで以上にもっと努力し、もっと上のレベルまで行けるよう頑張ろうと決心した夏でした。

中学最後の夏休み

B組 青木 亮一郎

今年の夏休みで思い出に残っているものは二つあります。

一つ目は部活動の合宿のことです。この合宿では7月末の4日間、嬬恋村の研修センターに行きました。合宿中はさまざまな所へ行き、土壌、水質、昆虫の3つの班に分かれてサンプルなどを採取しました。僕は特に最終日に行った石桶という川が好きです。なぜかという、とても景色がきれいだからです。この合宿は3回目だったのですが、毎年毎年新しいことを知ることができ、とても楽しみにしています。

二つ目は家族で京都に行ってきたことです。3日間京都に行き、さまざまな寺や神社を見て回ってきました。宿は嵐山に泊まりました。大雨の影響で、桂川が大変なことになっていました。茶色く濁った水がものすごい勢いで流れていました。音もすごかったです。

2日目は市バスを使い、清水寺、東寺、銀閣寺、金閣寺に行きました。一番驚いたのは、室町時代の銀閣寺の再現という展示があり、壁はピカピカの黒漆で、屋根の下組み木は鮮やかな緑のグラデーションに一部赤や黄などが混ざり合っておりとてもおしゃれな色合いでした。また、銀閣寺と金閣寺の参拝券が護符だったので寺という感じがしました。また金閣寺の護符の方が銀閣寺の護符よりも少しだけ大きかったのが面白かったです。

今年の夏休みは中学3年間の中で最も楽しく、そして思い出に残った夏休みでした。高校になっても夏休みを楽しみたいと思います。

学年だより 高1

後期開始 ～部活動を振り返って

月日の経過は本当に早いもので、1年生の半分がもう終わり、10月1日(水)に後期の始業式を迎えました。今回は、半年間を振り返り、部活動に対する生徒諸君の取り組み等を紹介したいと思います。

野球部

2組 鳴崎 草太郎

私は野球部に入って感じたことがありました。一つ目は、先輩方の一つ一つの行動がとても早かったことです。練習中はもちろんのこと、学校生活の中でも、この行動の早さを生かしているところはさすがだなと思いました。

二つ目は、挨拶や礼儀がしっかりしていて、私も先輩方を見習ってやっていかなければいけないと思いました。

最後は、短い練習時間の中で、一人ひとりが意識を高く持ってプレーしているところです。長くて3時間半の練習を集中して取り組むところが、野球部の強さの秘訣だと思いました。野球部は「甲子園出場」を目標として、日々の練習に取り組んでいます。私は、野球部の目標を達成するには野球だけをやっていれば達成できるとは思いません。毎日の生活から野球部員という自覚を持ち、常に人のために行動できる人間にならなければ達成できないと思います。

私はこのことを有言実行して、練習に励み、高輪台初の甲子園出場の夢を果たします。

東京ナンバー1になるために

2組 本藤 悟

私は東京ナンバー1になるために、高輪台高校サッカー部に入部しました。サッカー部では、先輩たちの技術レベルはもちろんのこと、意識の高さにも驚かされました。サッカー部は、毎日の練習に一生懸命に取り組んでいますが、特に、パスやトラップといった基本的な技術、練習の質など、細かな所にとってもこだわっています。練習の時に一人ひとりが皆を盛り上げて活気のある雰囲気を作ろうとしたり、集中していない人に対しては厳しく注意したりしている先輩方を見ると、私ももっとやらなければという気持ちになります。

サッカー部は、サッカーだけをしていけばよいという方針ではなく、学校生活もきちんとするように指導されます。私の中学校の時の行動と今を比べてみると、今は自分の服装を何度もチェックしたり、先生の話その授業内で理解しようと集中して、聞く姿勢が身についたと思います。

私たちは、東京ナンバー1になり、全国大会で通用するサッカーを目標にしています。残念ながらインターハイでは全国大会に出場することはできませんでしたが、選手権での全国大会出場を目指します。私自身も、試合にスタメンで出場し、点を取ってチームの勝利に貢献したいです。



学年だより 高2

研修旅行 ②

6月19日(木)から5泊6日で実施された研修旅行では、どのコースの生徒たちも普段の学校生活では体験できないさまざまな活動に挑戦しました。各コースの代表生徒たちの感想を紹介します。

ハワイサイエンスコース 9組 廣瀬 ありさ

夢が叶った研修旅行

私が今回の研修旅行で一番感動したことは、オニヅカビジターセンターを訪れ、満点の星空を見られたことです。私は小さい頃から星が好きで、いつかは、すばる望遠鏡があるマウナ・ケアを訪れたいと思っていました。その夢がこんなにも早く叶ってしまったことはとてもうれしかったです。

マウナ・ケア山をバスで登っているときは、あたり一面溶岩と草原で、奥に青い海が見えました。日本では絶対に見ることのできない風景でとても感動しました。ハワイ島は高い建物が少なく、いつでも地平線が見えるのでとても開放的で気持ちよかったです。だんだん、マウナ・ケア山が近づき、山頂にすばる望遠鏡の白い建物が見えた時はとても興奮しました。星空は今まで見た中で一番美しく、星の圧倒的な美しさそして瞬き、いつも見上げる星空とはスケールが違いました。特に、東京では見ることのできない南十字座や流星、天の川が見られたときはとても感動しました。ガイドの方に、特別にはくちょう座のアルビレオにある二重星を望遠鏡で見せてもらったことが心に残っています。

今回の研修旅行では貴重な体験ができました。いつかまたハワイ島を訪れ、あの星空に会いに行きたいと思います。



アカカの滝

オーストラリア研修コース 4組 新井 匠

ボク=ニホンジン

少しくらいは勉強してから行くべきだと後になって後悔しました。そして異国の人と会話するのがどれだけ難しいのかわかりました。事実、旅行中にまともに英語で会話などできていないし、買い物をするだけでも長い時間をかけました。言葉が伝わらない恐怖感を思い知り、同時に英語の勉強をしておけばよかったと後悔しました。そのことばかりで実はあまりオーストラリアの景色や料理を覚えていません。それほどまでに英語での会話というのは衝撃的なことだったのだと思います。一般的なコミュニケーションツール、つまり意思疎通をするために最も用いられる手段である“会話”、それを使わずにコミュニケーションをとることは、ほぼ不可能だと教訓になった旅行でした。

異国の地に立てば、そこには当然、文化があり他国語が使用されています。「郷に入っては郷に従え」という言葉がありますが、郷に従うためには郷を知らなければならぬと心底思いました。



ブルーマウンテンにて



アボリジニ文化体験

学年だより 高3

今号では、6月23日(月)に実施された3学年スポーツ大会、
および7月4日(金)に見学した「東京国際ブックフェア」について報告します。

完全燃焼、3学年スポーツ大会!

種目：男・女バレーボール、男・女バスケットボール、卓球、綱引き
種目別成績：男子バレーボール優勝-5組、女子バレーボール優勝-3組
 男子バスケットボール優勝-5組、女子バスケットボール優勝-6組
 卓球優勝-7組、綱引き優勝-6組

総合

優勝-5組

準優勝-3組



プレーも応援も全力の5組!



女子バレーは3組が快勝!



卓球に燃える7組!



綱引きは6組が最強!

大成功に終わった新種目・卓球

5組 石井 智崇

今回のスポーツ大会は、競技種目に卓球が追加されました。最初は盛り上がるか心配でしたが、始まってしまえばどのクラスも大勢で応援をしていて、とても盛り上がりました。手伝いの卓球部員も仕事と競技の分担ができていたので、来年度以降も卓球を追加することをお勧めします!

「東京国際ブックフェア」見学ツアーに行ってきました

7月に東京ビッグサイトで開催された「東京国際ブックフェア」の見学ツアーに、10名の生徒が参加しました。外国の書籍が紹介された展示や印刷会社のブース、児童書コーナーなどを回り、出版業界について学んできました。

見学ツアーに参加して

6組 小松 太一

今回、初めてブックフェアに行きました。入った瞬間、その会場の広さに驚きました。出版社ごとに本が並べられていて、中には外国で使われている教科書などもありました。児童書のコーナーを見てみると、僕がむかし持っていた本もありました。機会があれば再びブックフェアを訪れたいと思います。

さまざまなジャンルの本に出会えるフェア

1組 清水 英茉

私は両親がむかし出版社で働いていたので、小さいころに何度かこのブックフェアへ行っていたことがありましたが、数年ぶりにまた来ることができてうれしかったです。自分の好きな出版社や雑貨まで幅広く展示されていて、見ていてワクワクします。海外のブースにあった、その国のことばで書かれた本は普通の本屋さんでは見ることができないため、珍しくておもしろかったです。



マレーシアからも出展がありました



印刷会社の方に質問!



音声を聞くこともできる韓国の語学書

SSH活動報告

7月22日から2泊3日で、1年SSHクラス44名が科学体験学習旅行をしてきました。見学先は、愛知県の生理学研究所・基礎生物研究所・分子科学研究所、岐阜県の核融合科学研究所、静岡県の浜松ホトニクス株式会社、東海大学海洋学部清水校舎、東海大学海洋科学博物館です。また、TA(ティーチング・アシスタント)として2・3年生のSSHクラスの生徒6名が参加し、1年生をサポートしました。各施設での講義、実験・実習を通して生徒たちは普段の授業ではできない貴重な体験をすることができました。

“trip”

1年10組 松岡 理紗

私は、SSH科学体験学習旅行でたくさんの研究所と企業に訪問しました。そこで特に印象に残った訪問先が1つあります。それは、岡崎にある基礎生物研究所です。そこで、メダカを使った実験や観察を体験させていただきました。メダカは、川にいる魚という印象しかありませんでしたが、実際に研究者の方々の話を聞くと、今までのイメージが変わりました。また、メダカの黒い色素や魚と人間の見えるモノの違いについて特に興味を持ちました。メダカには、魚なのに人間に近い点もあって、とても面白かったです。

プレゼンを行う機会もたくさんあり、個々のプレゼン能力が伸びたと思います。また話すだけでなく、相手の話の中で重要な点や興味を持った点をメモすることもできるようになりました。今後のSSH活動では、これら一人ひとりが得たことをどのように生かし、自分の力にしていくかが重要だと思います。



メダカの鱗をとって色素を観察します



初めて訪れた浜松ホトニクス株式会社

My Best Thing

1年10組 山本 陽太郎

今回の科学体験学習旅行で、私が一番印象に残ったものは、スーパーコンピュータです。なぜなら、1秒間に300兆回と、膨大な量の計算ができるからです。さらに、スーパーコンピュータは、同じ部屋に複数台設置しており、その中の1台でも壊れてしまうと、全体に支障を来す恐れがあることを学び、驚きを隠せませんでした。

プレゼンは、時間内に収まるようにまとめるのが難しかったです。伝えたいことがたくさんあるのに、発表する時間に制限があるため、何を一番伝えたいかを考えまとめました。最も自分のためになったと思うことは、話す能力が上がったことです。これは、皆の前で積極的に話すことを何回も繰り返した成果だと思います。この旅行で、学んできたことをいろいろな場面で生かしていきたいと思っています。

2回目の科学体験旅行

2年9組 鈴木 雅裕

今回、私はTAとして2回目の科学体験学習旅行に行きました。私が1年生のときは科学やプレゼンを教えてもらう立場でしたが、今回はそれらを教える立場で参加したので、前回とは違うさまざまな経験をすることができました。まず、1年生へのお手本としてプレゼンをしました。プレゼンの前は他のTAにご迷惑をかけてしまうこともありましたが、1年生のために少しでも役に立てればという思いでプレゼンをすることができました。また、井上先生というプレゼン指導のスペシャリストの方に来ていただき、TAと一緒に1年生のプレゼン指導をしました。この学習会は1年生だけでなくTAにも得ることが多く、井上先生のお話を聞くことができ、指導のコツも教えていただきました。この旅行で1年生のプレゼン能力はとても向上し、TAとしてとてもうれしかったです。また、今回TAが教えたことを来年の1年生に受け継いでいってほしいと思います。



1年生のプレゼンをやさしく見守ります

科学文明論 —科学と芸術—



7月9日、SSHクラス高校2年生の授業「科学文明論Ⅰ」の芸術分野「科学と芸術」で「生物から学ぶ造形」をテーマに、絵本作家であり鳥の巣研究家の鈴木まもるさんに講義をしていただきました。

鈴木まもるさんは、なぜ世の中に「鳥」についての本はあるのに、「鳥の巣」についての本はないのだろう、というところから鳥の巣研究家になりました。鳥の巣の種類やその面白さ、鳥の巣から見える世の中など、広範囲にわたる内容を、さらさらっと描くイラストやスライドとともにお話していただきました。

生徒たちは、鈴木まもるさんのイラストのわかりやすさに驚くとともに、テンポよく展開されるお話に、鳥の巣への興味がどんどん深くなっていく様子でした。

鈴木さんは、鳥の巣がどのような目的でその形になり、どのようにつくっているのかを細かく教えてくれました。また、巣だけでなく鳥自体の話や、人が生きていく中で起きていることなどを、鳥の生活を通して学ぶことができ、とてもためになり、知らないことがまだ数多くあるということも知ることができてよかったです。何よりも、とても面白く楽しい授業でした。

この授業を受けて思ったことは、まず自分のしたいことを見つけたいということです。鈴木まもるさんは鳥の巣を研究する、という自分のやりたいことを見つけて人生を楽しんでいたのだととてもうらやましいと思いました。



今回この授業を受けて、鈴木まもるさんから鳥の習慣や巣の違いについて教えていただき、非常に面白く良い時間になりました。私はとても興味がわいたのもっと知りたいと思いました。

鳥の巣について詳しく知ることができました。海外にはとても大きな巣があると初めて知りました。鳥の世界も巣作りが下手だとやり直しをさせられるとは、人間と似ているなと面白く思いました。



鳥の巣をこんなに近くで見たのは初めてでした。触ってみるのも初めてで、とても貴重な体験になりました。この授業を受けて、以前とはモノの見方が少し変わったような気がします。



鳥の巣の不思議。東海大学付属高輪台高校の皆さんへ

鳥は卵を産み、ヒナを育てるために鳥の巣を作ります。暑さ寒さに弱いヒナの体を守り、サルやヘビなどの外敵に食べられないように、見つからないように、工夫した鳥の巣を作ります。どんな場所にどんな材料で、どんな形の鳥の巣を作るかは、それぞれの鳥の種類によりすべて違います。それは地球という多様な環境の中で、それぞれに一番合った生き方、生きる場所があるからだと思います。それは親や学校で教わるものではなく、それぞれが持っている本能の力だと思います。

ツバメが5,000キロも離れた東南アジアから、地図も見ないで日本に来て巣を作り新しい生命を産み育てるのも、そんな本能の素晴らしい力なのでしょう。同じ生命体として、きっと皆さんにもそんな素晴らしい力があるはずです。空を自由に飛ぶ鳥のように、皆さんも自由に自分の好きなのところに行き、それぞれの愛の巣を作ってくださいね。

絵本作家・鳥の巣研究家 鈴木まもる



2014年度学校運営方針

先月号まで、3回にわたって2014年度の学校運営方針重点目標について紹介してまいりました。今月からは、目標達成に向けての本校の取り組みを紹介していきます。

本校の取り組み PART.1

基本的な生活習慣を身につけさせる

集会時の歌唱指導、話を聞く姿勢を徹底させる

道徳教育を推進する

地元で愛される学校作り

本校の重点目標の一つに「学習と部活動の両立」があります。教科の学習や部活動をはじめとする教科外の活動を実りあるものにするには、まず人として基本的なことを、きちんと身につけることが大切です。ここにあげたのは、どれもそのための取り組みです。

授業に集中したり、部活動の練習に打ち込んだりするには、規則正しい生活をおくり、心身を常に健康に保てる人にならなければなりません。

また、きちんとした集会を行うためには、集団の一人ひとりが自覚を持たなくてはなりません。道徳を外部から要求されるルールとしてしか受けとめられない人は、集団の中にまざるときに平気で規範を逸脱します。道徳を内面化し、自律的に行動できる人を育てるためにも、しっかりと集会での指導をしています。

地元で愛される学校というのは、こうした人としての基本を身につけた生徒たちが育っている学校であると考えています。

TOKAI キャンパスメッセージ

動力機械工学科の学科紹介

東海大学工学部動力機械工学科主任 香川 勝一

動力機械工学科では各種輸送機械の中の自動車を主として取りあげ、機械を作る(もの作り)ための基礎勉強を行います。

機械の製造過程の概略を示しますと、設計仕様→設計(基本設計→詳細設計→製図)→加工→組立→試運転→機械の完成となります。設計仕様とは何をする機械で、能力はどのくらいで、どのくらいの期間で作るのか等を示したものです。まず、この設計仕様を満足させる機械の大体の形状を書きます。次に、詳細設計では各部分の受ける力を求め、この力に抵抗して破壊されたり、ひどく変形されないための材料の種類と寸法・形状を決定します。最後に、決定した材料の種類と寸法・形状を製図として表します。次の過程として

加工がありますが、加工以降の製造過程については大学のカリキュラムには含まれていません。よって、社会に出て加工、組立、試運転等を経験しなければ機械を作ることはできませんので、プロのエンジニアになるためには卒業後6～8年要すると言われています。

また、機械には多くの種類があり、工作機械、建設機械、搬送機械、農業機械、鉄道車両、食品機械…等(どの分野にも就職可能です)があります。これらの機械を作るにはそれぞれノウハウがありますので、ある機械を作ることができたとしても他の機械を作ることはできません。すなわ

ち、高校時代あるいは大学に入学した時点から将来どのような機械を作りたいのかを決めておくとよいと思います。そうすればどの科目に力を入れて勉強をしなければならぬかが明らかになりますので、目的を持った勉強を行うことができることになります。



「機械設計製図」の授業風景

来たれ！ 動力機械工学科

丸岡 圭輔

東海大学工学部動力機械工学科2年(高輪台高校2013年3月卒業)

私は、現在東海大学工学部動力機械工学科の2年に在籍しています。動力機械工学科は「自動車」を取りあげて機械工学の基礎勉強を行う学科ですが、決して自動車関係のことだけを学ぶ学科ではありません。工学部ならではのさまざまな専門的な科目を履修することができます。動力機械工学科内でもさまざまな分野について学ぶことができます。大学の授業は、専門的な内容が多く難しいと思われるがちですが、1年次の授業では復習を兼ねた授業も多いのであまり心配する必要はありません。

動力機械工学科は、在籍人数が1学年約200名と多いので、新たな多く

の友人を作ることができます。動力機械工学科には、自動車好きの学生が多くいますが、電車好きや飛行機好きの学生もたくさんいます。自動車に限らず、「動く機械」が好きなお人にはうってつけの学科だと思います。友人を作っ

て遊んだり、サークルやチャレンジセンターの活動に参加したりと、キャンパスライフはまさに十人十色です。

東海大学工学部動力機械工学科で、将来の夢の実現に向かって4年間を送ってみませんか。



「流体力学」の授業



チャレンジプロジェクト「Tokai Formula Club」

お知らせ

後援会『けやき屋食堂・バザー』

ご来場をお待ちしております!!

後援会会長 渡邊 一史 学年部部长 佐藤 むつみ

10月11日(土)、12日(日)両日に開催されます第50回建学祭において、本年も後援会として、けやき屋食堂とバザーの参加を予定しております。

- 場所 ●けやき屋食堂 / B2F 食堂 10:00~
●バザー / B2F 物理実験室 10:00~ (両日とも)

行事予定

October 10月

November 11月

- 1日(水) 後期始業式[冬期正制服着用] 45分短縮授業
- 2日(木) 中学校教員説明会(16:00~)
- 3日(金) 塾教員説明会(10:00~)
- 7日(火) 第13回中等部・高校合同体育祭(さいたま総合グラウンド)
延期の場合は授業日
- 8日(水) 建学祭開祭式(7時限)
- 9日(木)・10日(金) 建学祭準備日
- 11日(土)・12日(日) 第50回建学祭
- 13日(月) 体育の日
- 14日(火) 建学祭閉祭式 45分短縮授業
学校保健委員会② 安全衛生委員会②
- 15日(水) 振替休日(10/12分)
- 16日(木) 学年集会(中1、高1)
- 17日(金) 第13回中等部・高校合同体育祭予備日
(10/7体育祭実施・延期の場合は授業日)
教育実習(~11/11)
- 20日(月) 高1スポーツ大会[さいたま総合グラウンド](体育移動授業)
- 21日(火) 高2スポーツ大会[さいたま総合グラウンド](体育移動授業)
- 22日(水) 高3スポーツ大会[さいたま総合グラウンド](体育移動授業)
- 24日(金) SSH成果報告会 特別時程
- 25日(土) 高校受験生・保護者学校説明見学会(3回目)
- 26日(日) 生徒会立会演説会(中等部:アリーナ・高校:放送)
- 28日(火)・29日(水)・31日(金) スポーツ大会(予備日)
- 30日(木)

- 1日(土) 東海大学建学72周年記念日 休業日
- 3日(月) 文化の日
- 4日(火) 建学記念式典 朝礼[冬期正制服着用]
1限カット45分短縮授業
- 6日(木) 学年集会(中3、高3)
- 7日(金)・12日(水) スポーツ大会(予備日)
- 8日(土) 70周年記念式典(午後)
- 9日(日) 中等部受験生・保護者学校説明見学会(4回目)
- 13日(木) 学園高大連携総合試験(高3)
基礎力判定テスト(高1、高2)1回目
外部実力試験(中等部)
後援会湘南校舎見学研修
- 14日(金) 中等部水泳実習2回目(湘南キャンパス)
- 15日(土) 高校受験生・保護者学校説明見学会(4回目)
- 16日(日) 校医相談日⑦
- 18日(火) 一斉公開授業(2回目) 専門医によるカウンセリング④
- 19日(水) 一斉公開授業(2回目) 中等部合唱祭(1・2限)
- 20日(木) 勤労感謝の日
- 23日(日) 振替休日
- 24日(月) 生徒による授業評価アンケート(3回目)
- 27日(木) 後援会委員総会
- 29日(土)

避難訓練



編集後記

テニスの全米オープンで錦織圭選手が、優勝は逃したものの準優勝を果たした。日本選手の4大大会シングルス決勝は男女を通じて史上初の快挙である。欧米選手とはパワーの差があり、世界の舞台にアジアの選手が登場することは難しい、と考えられていた。しかし、そんな常識を覆したのが錦織選手だ。13歳で渡米し、目標に向け諦めない気持ちを持って全力で挑んでいく姿に感動を覚えた。「為せば成る」そんな気持ちを持ちながら、取り組むことの大切さを改めて教えてもらった気がする。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>